



運動会で得られたもの

副校長 高橋 宏彰

澄みわたる青空の下、令和5年度の運動会を2回に分け、実施しました。各学年の子供たちはそれぞれの力を発揮し、たくましく、しなやかに、自分を表現していたと思います。また他児童と協力し一つのものを作り上げたこともとても大きな経験でした。

さて、運動会で子供たちはどんなことを学び、成長(経験)したのでしょうか。運動会の練習や当日の個人競技や団体競技、表現などを参観しながら、子供たちの学びを見付けたいと考えていました。

- ・精一杯に全力を尽くすこと
 - ・目標をたて、少しずつ積み重ねること
 - ・新しい身体表現を身に付けること
 - ・たくさんの人数で一つのものを作り上げる楽しさ、難しさを知ること
 - ・結果を受け入れること
 - ・他者を支えること、支えられていること
 - ・応援を受けることの心強さ
 - ・自分や他者の成長を実感すること
 - ・他者の失敗を認め、許すこと
 - ・発表披露することの難しさ、楽しさ
 - ・初めてのことに挑戦すること
 - ・競う楽しさ、難しさを知ること
 - ・他者との一体感を味わうこと
 - ・応援することの楽しさ
 - ・喜びや苦労を分かち合うこと
 - ・緊張感を味わうこと
- …など。

運動会では目標を達成し、成功したと感じている子もいれば、上手いかなかったと残念がっている子もいると思います。成功を感じることはモチベーションを高め、次のステップに向かう力となります。しかし失敗したと思うネガティブな経験は、思い出したくない、それ以上掘り下げたくないものとして捉えられてしまうことが多いのです。

子供がネガティブに思いがちな経験は、本来は成功につながる大切なものです。「難しさ」を体験し理解することは、解決するための糸口を見つけるきっかけになります。また成功への具体的な道筋を考えるためにも必要です。私たち大人は失敗や課題を見付けることがネガティブなことではなく、ポジティブに捉えられるものだと思っていますが、子供たちは必ずしもそうではありません。もしも出来なかったことを強く気にしていたり、前に進むことをあきらめていたりする子供がいたら、私たちはポジティブに捉えられるように声かけをしたいものです。

運動会実施にあたり、多くの保護者様にご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。

◀ 教職員から子供たち・保護者の皆様へのお礼のメッセージ ▶

10月5日の「教師の日」に、子供たちや保護者の皆様からたくさんのメッセージをいただきました。心あたたまる言葉に、教職員一同、感動しました。お礼のメッセージを中央玄関に掲示していますので、ご来校の際は、ぜひご覧ください。



世界一幸せな学校です。「ありがとう」という言葉は、魔法の言葉です。うれしさで心があたたかくなり、不思議と元気もわいてきます。こんなにたくさんの「ありがとう」をもらって、先生方は幸せでした。皆さんに幸せの「お返し」です。たくさんの「ありがとう」をいただき、「ありがとうございました」。

校長 高山 直也